

地域の空き地をまるごと"まちづくり"としてマネジメントしていく取り組み (宍粟市 だんだんの会)

- ●遊休農地や低未利用地の状況、空き地所有者の意向等を踏まえて、空き地を活用したまちづくり 構想、具体的なマネジメント方針等を検討
- ●遊休農地等を活用した綿花栽培に取り組む既存の「コットンプロジェクト」と連動し、地域で「稼ぐ」 仕組みづくりを目指す

背景·課題

土地区画整理事業が解除され、遊休農地、賃貸アパート や太陽光発電パネルの増加等、無秩序な市街地形成が 懸念されている。

調査目的

地域の遊休農地や低未利用地の状況、空き地所有者の意向等を把握し、空き地を活用した地域づくり構想や 具体的なマネジメント方針、実施体制の検討を行う。

事業内容・スキーム NPO法人ピアサポート 宍粟市建設部 ひまわりの家 だんだんの会 ·各種行政資料、情 施設利用者の調査等への 報の提供など ・空き地の現地調査及びその他現地 作業への参加 ・空き地所有者等への意向調査・空き 地を生かした地域づくり構想の検討・ 地元不動産 ・地域の空き地をまるごとマネジメント 業者 する方針の検討 調査エリア自治会 ·土地取引情報等 の提供など 調査作業への支援 現地調査、意向調査、提案 検討など、協力・連携 中井都市研究室 ・空き地調査・意向調査の実施、まちづくり構 想案作成及び空き地マネジメント方策の検討

①空き地の現地調査

- ・全440筆の現地調査及び空き地管理状況の把握を行った
- ②空き地所有者への意向調査
- ・市の協力を得て、440筆の所有者に対してアンケート調査 を実施した(空き地となった要因、活用意向等を把握)
- ③空き地を生かした地域づくり構想、マネジメント方針の検討
- ・既存のコットンプロジェクトと連動した、遊休農地や空き地の 利活用方針、具体的な実施体制等を検討した

モデル調査の成果

- ・モデル調査を通して、地域の自治会及び宍粟市の取組に対する理解を得るとともに、 協力関係を構築することができた。
- ・現在取り組まれている宍粟市都市計画マスタープランの策定と連動しながら、都市マスの地域版としていくことで、空き地利活用の先進事例となることが期待される。
- ・遊休農地を活用して地域で一体となって綿花栽培を進める既存の「コットンプロジェクト」と連動して、自立的に空き地マネジメントを進めていく方向性を地域で協議・合意することができた(2/28と2/29に、地域に向けてコットンプロジェクトの説明会を実施)。



空き地の状況



空き地調査の状況



またづくり、楼相の検討



空き地分布の状況



綿花栽培の様子



自治会との協議